

イ 電話相談委員

氏名	役職名	備考
新家 淳子	家庭教育アドバイザー	◎
成田 由美子	心理判定員	
山川 和二	元公立学校長	
山崎 万紀子	臨床心理士	
渡辺 晴子	元公立学校教諭	
酒井 芳子	臨床心理士	
林 千枝子	家庭教育アドバイザー	

◎ 委員長

ウ 相談状況 相談件数 367件

エ 相談内容 (多い順)

- 1位 家庭の人間関係
- 2位 性格行動
- 3位 家庭全般
- 4位 進路適性
- 5位 その他

(4) 各種委員会

① 企画運営委員会

ア すこやか家庭教育相談事業全般の企画・運営並びに評価・反省を行う。

イ 企画運営委員

氏名	役職名	備考
西久保 禮 造	福島大学教育学部教授	◎○
関口 はつ江	郡山女子大学短期大学部教授	○
山川 和二	元公立学校長	
遠藤 正 俊	富士病院神経科医師	
渡辺 俊 彦	福島女子短期大学教授	○
大関 太 朗	福島テレビ編成局長	
遠藤 久 江	県立会津短期大学教授	○
加藤 一 夫	県立医科大学助教授	○
大宮 勇 雄	福島大学教育学部助教授	○
七島 征	県教育庁社会教育課主幹	

◎印 委員長 ○印 すくすく通信委員を兼ねる

3 家庭教育総合推進事業

(1) 実施期間 平成2年4月～3年3月

(2) 研究主題 「家庭と地域の教育機能」
～地域と共に育つ家庭を求めて～

(3) 事業内容

① 企画推進委員会

ア 総合的な観点から家庭教育上の諸問題についての研究・分析を行い、指導資料の作成や指導者研修会の指導等に当たる。

イ 企画推進委員

氏名	役職名	備考
小野 直 廣	福島大学教育学部教授	
氏家 達 夫	福島大学教育学部助教授	
松崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
星野 仁 彦	県立医科大学講師	
樋口 勝 也	桜の聖母短期大学教授	
神津 武 志	県PTA連合会副会長	
阿部 貞 夫	県教育センター教育相談部長	
佐藤 利 郎	県教育庁義務教育課主幹	

② 家庭教育指導者研究協議会の開催

期 日	会 場	参加者
10月26日(火)	白河市文化センター	238名
11月22日(木)	桑折町公民館	265名

③ 家庭教育指導資料の作成・配布

ア 家庭教育上の課題や諸問題について資料としてまとめ、家庭教育事業の充実や地域における教育機能の活性化に資する。 作成部数 1,500部

第6節 視聴覚教育

1 概 要

県民の心のふれあいと生きがいを求める生涯学習への意欲が高まり、各地で様々な学習活動が活発に行われている。

その学習要求は、量的に増大するばかりでなく、質的にも高度化してきている。このようなとき、学習効果を高め、興味深く学習を展開するための手段として、視聴覚教育の果たす役割は極めて大きい。

(1) 市町村視聴覚ライブラリーの整備充実

視聴覚教育推進の拠点としての市町村視聴覚ライブラリーが、視聴覚機器・教材の収集及び保管と、その利用に供する事業のほか、郷土に関する視聴覚教材などの自主制作事業や各種の研修事業等を行う視聴覚センターとしての働きを行うよう指導にあたった。

また、近隣の視聴覚ライブラリーは、相互に各種情報の交換を行い、視聴覚教材の相互貸借、研修の合同実施などを行うことに積極的に取り組むよう助言、指導に努めた。

(2) 視聴覚教育指導者研修の充実

市町村教育委員会、視聴覚ライブラリーなど関係機関による視聴覚機器操作講習会の実施を促進した。また、学校教育及び社会教育関係者を対象とした、視聴覚教育中堅指導者研修会の充実に努めた。

(3) 視聴覚教育関係団体との連携

県視聴覚ライブラリー連絡会との連携を密にし、組織の充実と改善を図るよう助言・指導にあたった。また、視聴覚教育の一層の振興を図り、当面する諸方策の実践について総合的に研修する県視聴覚ライブラリー研究協議会を、県視聴覚